

就学援助最低では「子育てするなら福生」が泣く 共産の就学援助対象拡大の動議に各党反対

福生市第1回定例会が開催中です。令和3年度予算が審議されました。

日本共産党は、最終日に予算組み替え動議を提出しました。コロナ禍の中で、子ども一人当たり約10万円もの保護者負担に苦しむ経済的困窮家庭を支援するために、福生市の就学援助支給基準を引き上げる内容です。

就学援助の支給対象を生活保護支給基準の何倍までとするかは、各自治体が決めることになっています。世帯の収入で判断するか、所得で判断するかは、自治体で違ってきます。右表をご覧ください。福生市は、所得で支給判断をしている東京13市の中で最も低く設定しています。生活保護基準の1.0倍ということは、本来なら生活保護を受けられる要保護世帯

しか就学援助を受けられないということです。市長が提案した予算案の審査の中で、私が、1.1倍に引き上げたらどう変わるか質問したら、新たに35人の児童生徒が支給対象となり、その予算は約330万円と回答がありました。

そこで、日本共産党会派として、予算案採決前に就学援助の支給基準を1.0倍から1.1倍に引き上げることを求める予算組み替え動議を提出しました。残念ながら、正和会（自民）、公明、生活者ネット、立憲の反対で否決されました。しかし、こんな冷たい就学援助では、子どもと子育て世代の市外転出の流れは止まりません。福生市子ども・子育て支援事業計画（第2期）で、平成27年度の国勢調査の結果、5年間に、

15歳以下398人、30代648人、40代314人の社会減（転出が転入を上回る）であったと記しています。子どもと子育て世代にもっと温かい支援策が必要です。

生活保護基準の何倍の所得の世帯までが支給対象か	自治体数
1.5倍	1
1.3倍	1
1.25倍	1
1.2倍	1
1.15倍	1
1.1倍	5
1.0倍	福生市等3市

日本共産党 福生市議会議員
いけだ こうぞう
池田公三

が「相談」に応じます。

日時は、お電話いただければ、調整いたします。

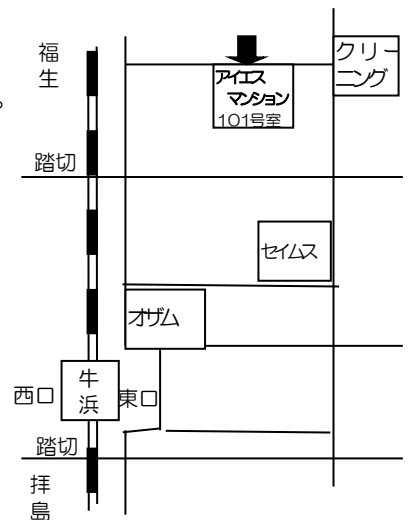


なんでも生活相談

3月のなんでも生活相談会のお知らせです。コロナ禍の中、困っているのに、誰にも相談できずにいる方はいらっしゃいませんか。どうぞお気軽にご相談ください。

日時 3月24日（水）午後7時から

場所 池田公三事務所（駐車場あります）
福生市志茂115 アイエスマンション101号室
Tel 042-530-0705



日本共産党福生市委員会は池田公三さんの活動について発表しました

福生民報

発行 2021年3月号外
日本共産党福生市委員会
責任者 太田
福生市志茂 115 101号室